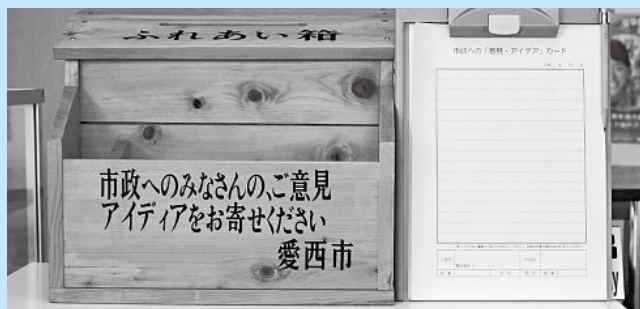


皆様からの意見を市政に

メール&ふれあい箱でのご意見を紹介します



愛西市では自立支援医療受給者証(精神通院)を持っていただければ、申請により窓口負担分の半額の補助が受けられると思いますが、近隣市では全額が補助対象となっています。不公平感がなくなるように、近隣市と足並みを揃えて欲しいです。

令和4年4月診療分から自立支援医療受給者証(精神通院)をお持ちの方については「精神障害者医療費受給者証」(以下、受給者証という)を交付し、精神通院にかかる医療費(保険診療分)を全額補助対象とし、窓口での自己負担を無償化しました。

また、市の独自助成の一つとして精神疾患により入院をされる方にも受給者証を交付し、精神疾患による入院にかかる医療費(保険診療分)も全額補助対象とし、窓口での自己負担を無償化しました。

該当される方は、保険年金課または各支所の窓口で交付申請をしてください。

問 保険年金課 ☎(55)7119

*紙面の都合によりご意見などを一部割愛させていただきます。

あいさい見聞録

その41 河川と鉄道

2022年度は木曾川についての雑想を綴ります。今年には鉄道150周年、1872年に新橋・横浜間に日本最初の鉄道が開通した記念すべき年です。

鉄道の敷設は江戸時代から続く街道に沿って進められました。代表例が国道1号線とJR東海道本線で、概ね江戸時代の東海道に沿っています。そして、愛西市内で最も古い鉄道は、1895年に敷設されたJR関西本線(旧関西鉄道)です。

一方昔から内陸に向かう街道は大河に沿っています。代表例が国道19号線とJR中央西線であり、江戸時代の善光寺街道・中山道は、概ね木曾川の流れに沿って続いています。河川は物流の道であり、昔から山間部と海岸部との文化を交流させています。愛西市内を通る名鉄尾西線(旧・尾西鉄道)、弥富・佐屋・津島・宮と続く鉄道も木曾川に沿っています。

河川に沿った江戸時代の街道は、神社仏閣の参詣道でもありました。愛知県津島市に本宮がある津島神社の分霊社は木曾川水系に沿って点在し、中津川市などにも津島神社があります。

さらに、津島神社の最も重要な神事である御葎放流(みよしながし)は、津島市の天王川公園で実施されています。江戸時代までは、御葎は天王川・佐屋川などの木曾川派川を通じて伊勢湾に流されていました。

他にも、長良・九頭竜・手取川の源流に位置する霊峰・白山をご神体とする白山比咩神社(しらやまひめじんじや)の奥宮が山頂にありますが、長滝白山神社(ながたきはくさんじんじや)など白山神社の分霊社や関連寺院が長良川(木曾川水系)に沿って点在しています。長良川沿いには郡上街道、現在の国道156号線や長良川鉄道(旧国鉄越美南線)が通っています。

このように、JR中央西線、名鉄尾西線、長良川鉄道など、鉄道の発展史からも河川と人の関わりを感じさせます。今年の夏休みには、鉄道の旅を見直してみましょ。



(図録) 佐屋駅近郊を走る名鉄尾西線

問 市観光協会 ☎(55)9993